

Red Cross Kyoto

赤十字 きょうと 2023 2月号



令和4年7月30日開催 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（小学生の部）

救うを託されている。

人間を救うのは、人間だ。

 **日本赤十字社** 京都府支部
Japanese Red Cross Society

青少年赤十字を支える

Interview 6

京都府青少年赤十字指導者協議会副会長
京都市立金閣小学校 校長

奥野 利一 さん



奥野先生には、長年にわたって日本赤十字社の青少年赤十字活動にご指導、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

そもそも奥野先生と赤十字、青少年赤十字の最初のかかわりは

私は、生まれたのは京都第二赤十字病院の近くですが、教員になるまで全くかかわりがありませんでした。最初に勤務した学校で、京都府青少年赤十字指導者協議会(指導者協議会)で熱心に青少年赤十字(JRC)活動に取り組んでおられた先輩教員の勧めで、指導者協議会の仲間にいらていただきました。

その頃の指導者協議会は、どうでしたか？

今に比べると、いろいろな活動があり、たくさんさんの研修会や宿泊研修もあり楽しかったです。今はコロナ禍で事業の実施が難しい部分はありませんが、JRC活動の中で、赤十字のことも、それ以外のことも先輩からたくさん教えていただきました。自分にとっては、教員としての力量形成に非常に役立つ部分がたくさんありました。

当時の学校でのJRC活動はどのような雰囲気でしたか？

小学校の先生になった時に、五年生の国語の教科書に「アンリー・デュナンの伝記」がありました。五年生で、アンリー・デュナンの第一回のノーベル平和賞を受賞したことや赤十字のことを学習したので、子ども

たちに対して赤十字のことを伝えやすかったです。

今の子どもたちは学習していないので、非常にもったいないです。学校で習ったこと、国語の教科書に載っていたことは、子どもたちにとっては大きいことですし、大人になっても覚えていきますよね。個人的には、国語の教科書でアンリー・デュナンや赤十字について学べるということが、とっても素敵だと思います。復活してほしいですね。

奥野先生にとってのJRCとは

JRC活動の最も特徴のある教育プログラムの一つである、リーダーシップ・トレーニング・センター(トレセン)は、集団生活を通して青少年赤十字の精神とリーダーとしての資質を学ぶ場ですが、お互い知らない子どもたちが、同じところに集まって、二泊の間に、赤十字の勉強をしたり、いろいろな教育プログラムを、みんながひとつになつて学習したり、一緒に作り上げていくという過程で子どもたちが成長していく手法としては、JRC活動も学校教育も相通ずるところが、非常にたくさんあると思っています。トレセンやJRC活動を通して、子どもたちとの関わり方、接し方を学ぶことができ、自分にとってはとても大切な場です。



小学生にとってJRCとは

小学生は、JRCのことを学び、中学生、高校生になって赤十字のことを広めたりする。小学校は人材の裾野を広げる役割を果たしていると個人的には思っています。

小学生が自ら進んで国際交流事業に参加するのは、年齢的にもしんどい部分があります。

小学校四年生からトレセンに参加し、トレセンに来るのが好きで毎年参加し続けて、今は赤十字ユースに所属し、国際貢献の場で活躍できるようなボランティアさんたちがいます。このようなグローバルな人材を育てていただくのは中学校や高校になると思います。小学生は赤十字活動に少しでも参加してもらい、将来的にグローバルな人になるよう裾野の部分を担っていきたいと思っています。小学校の先生方もそのような思いで学校や学級で子どもたちと接していただければJRC活動に対する理解も深まっていくし、思いも違ってくるのではないかと思っています。

金閣小学校の皆さんは、最近、国際理解・親善を身近に感じられたことがあったそうですか？

金閣小学校に、今年度、海外からの留学生のご子息が転入されてきました。日本語が全く話せない子どもたちです。担任の先生は、不安や戸惑いを感じていたようですが、子ども同士は仲良くなり、すぐに日本語で

京都府青少年赤十字指導者協議会会長
京都府立山城高等学校 校長

細野 吾 さん

青少年赤十字活動は、児童や生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕することや、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としており、京都府青少年赤十字指導者協議会の先生方と連携し、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

こうした青少年赤十字活動を展開できますのも、皆さまのご支援の賜物であり、感謝申し上げます。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。



コミュニケーションがとれるようになり
ました。

子どもたちの間には、国籍、宗教、
思想信条の違いなどは関係なくて、
目の前に現れたお友達と仲良くなり
たいという思いしかありません。そ
の思いは、国際理解・親善の原点で
す。そんな豊かな国際交流ができた
子どもは本当に幸せです。

子どもたちが、豊かな国際交流を通
じて仲良くなっていく様子を、すぐそ
ばで見られたことは、教員にとつて
も幸せなことでした。

自分が知らない人とお互いわかりあ
うという経験は、すごく大事です。
これからの世の中を生きていく子ど
もたちにとっては、そういう視点は
より大事になってきます。

指導者協議会以外にも、京都市教育
委員会の教科研究会として、京都市
青少年赤十字教育研究会(研究会を
作っておられますが、どのような取
り組みをされていますか？)

研究会は、人数は多くないですが、
車いすバスケット体験や、いのちの
大切さを学ぶJRC防災教育教材を
使った授業をしたりして、赤十字の
理念を広げていけるように頑張っ
ています。

指導者協議会だけでなく、研究会も
頑張っていたらいいと思います。最
後に、後輩の指導者の
みなさんへのエールを

戦争や紛争、差別や偏見がまだまだ
存在する、今の時代を生きる子ども
たちにとって、今後も赤十字の精神
はますます大切にしなければいけ
ないと思っています。

赤十字精神が特別なことを謳ってい
るわけではなく、学校教育とJRC
教育の目指すところは軌を一にし
ています。無理のない形で、無理のな
い範囲で、それぞれの先生方の教育
実践の中で、人道精神、ボランティア
精神を子どもたちに伝えてほしい
と思っています。



令和4年度京都府青少年赤十字
リーダーシップ・トレーニング・センター(小学生の部)
令和4年7月30日(土) 京都テルサ



そのために、赤十字のことをみんなで
勉強しながら、自分の中に取り込め
ていけるような指導者協議会、研究
会であつたらいいなと思っています。

奥野先生ありがとうございます。
JRCも100周年を迎えましたが、更
なる100年に向かって引き続きご支
援ご指導をよろしくお願いいたします。

奥野副会長、
お話を聞かせていただき
ありがとうございます！



3年ぶりに、リーダーシップ・トレーニング・センターを実施



7月30日に小学生（41名）、8月2日に高校生（42名）が、青少年赤十字について、防災教育、応急手当などの学習をとおして、「リーダーとは？」と一人一人が考え、体験する研修を実施しました。

3年ぶりに、災害救護訓練を実施



6月18日に、奈良県において、近畿6府県の支部、赤十字病院、血液センターの職員及び看護学生が参加し、第4ブロック支部合同災害救護訓練を実施しました。また、11月12日には、支部、赤十字病院及び血液センター職員が参加し、京都府支部管内合同災害救護訓練を実施しました。

防災倉庫を設置



京丹波町防災倉庫の設置に伴い、日本赤十字社京都府支部 西脇支部長、京丹波町 畠中町長によって、災害対応に向けた連携及び協力に関する協定書を締結しました。そして、12月5日に京丹波町役場で運用開始式を執り行いました。

今回の整備で、京都府内に10カ所目の防災倉庫を設置することができました。日本赤十字社は、災害発生時に、被災された方々へ速やかに救援物資などをお届けできるように、皆様からのご支援により日頃から防災倉庫の整備や救援物資等の備蓄をしております。

◆◆◆ ご支援・ご協力をお願い ◆◆◆

赤十字を支えるのは、あなたの思い。

赤十字では、皆様からお寄せいただいた資金を活用し、「いのちと健康を守る」ための様々な活動を展開しています。引き続き、皆様からの温かいご支援を賜りますようお願いいたします。



●地域でのご寄付

赤十字奉仕団や町内会・自治会などを通じてご寄付いただいています。また、年間を通じて府内各市区町村の日赤窓口でもご寄付いただけます。

●口座振替によるご寄付

ご登録いただいた金融機関の口座から希望月に自動引き落としでのご寄付いただく方法です。日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

●寄付金付自動販売機の設置によるご寄付

自動販売機の売上げの一部をご寄付いただく方法です。設置に要する費用は全て販売会社が負担します。新規設置だけでなく、更新設置も可能です。詳細は当支部(上記と同じ)までお問い合わせください

●遺贈・相続財産等のご寄付

京都府支部では、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っています。詳細は当支部(075-541-9326)までお問い合わせください。

●クレジットカードによるご寄付

ご登録いただいたクレジットカードから、寄付回数を選択してご寄付いただく方法です。日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

活動資金へのご協力ありがとうございました

(地区順・五十音順)

日本赤十字社京都府支部の活動は、皆様のご支援により支えられています。

令和3年10月から令和4年12月の間に、10万円以上のご寄付をいただき、掲載についてご了承いただいた会員の方々をご紹介します。

●北区

川上 達也 様
高須 雅史 様

●上京区

立原 貴代 様
渡邊 隆夫 様

●左京区

一井 克之 様
井元会計事務所 様
久野 貞子 様
出竿 賢治 様
株式会社美也古商会 様

●中京区

玄海 外之 様
ジブラルタ生命保険株式会社 様
株式会社セレマ 様
第一生命保険株式会社京都総合支社 様

●山科区

エンドレス不動産販売株式会社 様
紀田 貢 様

●下京区

一般社団法人生命保険協会 様
日本ホールディングス株式会社 様
湯口 翼 様
株式会社ロマンス小杉 様
ワタキューセイモア株式会社 様

●南区

E-CARS 様
岡本 功 様
京都ケアサービス株式会社 様
株式会社大同商会 様
中西電建株式会社 様

●右京区

株式会社浄美社 様
森本 哲郎 様

●西京区

エステックジャパン株式会社 様

●伏見区

石黒メディカルシステム株式会社 様
小西 和代 様
株式会社ヤマモトホールディングス 様

●宇治市

北後 豊子 様

●福知山市

天藤製菓株式会社 様
科研電機株式会社 様
福知山BGM福祉サービス 様
山下 裕 様

●宮津市

河嶋 義孝 様

●長岡京市

藤原 幸和 様

●八幡市

丸岡組 様

●京田辺市

中島 隆夫 様

●南丹市

有限会社アユミ・ロジスティクス 様
竹井 博 様

●久御山町

五洋精工株式会社 様

●宇治田原町

株式会社木長園 様

●精華町

株式会社アイエス 様
株式会社井上製作所 様

●千葉県

石田 彰成 様

●滋賀県

下條 永展 様

●兵庫県

大江 省吾 様

令和3年度 日本赤十字社京都府支部 歳入歳出決算

	決算額(千円)	内 訳
災害救護事業費	21,305	災害救護に係る経費、救護資機材等の整備費、救護看護師の養成経費など
社会活動費	49,546	救急法、水上安全法、幼児安全法等の講習開催経費、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費など
国際活動費	1,050	国際開発協力事業に係る経費
指定事業地方振興費	4,550	災害救援設備の整備に係る経費など
地区分区交付金	43,012	地区分区の事務費及び事業費
事業振興費	38,779	会費の募集、広報活動に係る経費など
基盤整備交付金・補助金支出	1,150,116	医療施設や血液センターの基盤整備のための交付金
積立金支出	35,745	災害等資金積立金など
総務管理費	54,229	光熱費、事務費など
資産取得及び資産管理費	59,359	庁舎の維持管理費など
本社送納金支出	63,020	本社の国内外の活動に係る経費
歳 出 合 計	1,520,711	